

| 項目 | 内容 |
|-------|---|
| 名称 | ハクトウスギ (白豆杉)、ハクトウサン、ウナンコウトウスギ (雲南紅豆杉)、ウナンコウトウサン [英]White berry yew. Yunnan yew または Himalayan yew [学名]ハクトウスギ <i>Pseudotaxus chienii</i> (W.C. Cheng) W.C. Cheng、ウナンコウトウスギ <i>Taxus yunnanensis</i> W.C. Cheng et L.K. Fu、 <i>Taxus wallichiana</i> Zucc. var. <i>wallichiana</i> |
| 概要 | ハクトウスギ (白豆杉) /ウナンコウトウスギ (雲南紅豆杉) は、イチイ科 (Taxaceae) の針葉樹。日本では白豆杉 / 雲南紅豆杉を紅豆杉と称することがあるが、中国では中国イチイ (<i>Taxus chinensis</i>) を紅豆杉と称されており、さらに白豆杉は雲南紅豆杉とは別属の常緑灌木とされている。日本では、樹皮・葉が医薬品として使用される成分本質に該当するため、食品に使用することはできない。心材は食品に使用可能であり、心材を原料とした茶や、抽出物を含有した健康食品が国内で流通している。雲南紅豆杉は中国およびチベットで伝統薬として用いられたとされるが、有毒成分であるタキサン誘導体を樹皮や葉に多く含んでいる。 |
| 法規・制度 | <p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハクトウスギ (ウナンコウトウスギ) 樹皮・葉：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。 |

| | |
|----------|--|
| | ・ハクトウスギ (ウナンコウトウスギ) 心材：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 |
| 成分の特性・品質 | |
| 主な成分・性質 | ・ハクトウスギはフェノール誘導体 (5-ヒドロキシマルトール、プソイドタクストラクトン)、トリテルペン (11,22-ホバンジオール) 等を含む (103)。 ・ウナンコウトウスギはジテルペン (タキソール、ジヒドロタキソール、タキサユンチンA~J、タクスユナニンA~Y、ホングドウシャンA~C) 等を含む (103)。 |
| 分析法 | ・Taxus yunnanensisの小枝に含まれるタキソイドをUPLC-MS/MS で分析した報告がある (PMID:30223770)。 |
| 有効性 | |
| 循環器・呼吸器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 消化系・肝臓 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 糖尿病・内分泌 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 生殖・泌尿器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 脳・神経・感覚器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 免疫・がん・炎症 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 骨・筋肉 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 発育・成長 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 肥満 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| その他 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 参考文献 | (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (101) 中国衛生省通知 2006.2.16 (102) 国立医薬品食品衛生研究所 食品安全情報 No.5/2006 (103)健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規 (PMID:30223770) BMC Plant Biol. 2018 Sep 17;18(1):197. (PMID:31292386) Intern Med. 2019 Nov 1;58(21):3153-3156. (PMID:22744930) Neth J Med. 2012 Jun;70 (5):249. (PMID:21138310) J Nat Prod. 2011 Jan 28;74(1):102-5. (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) |